



完成鉢ですてきな花をお届けします

姫スイレン

5～10月まで花を咲かせる耐寒性スイレン。今回はその中でも一番小型な姫スイレンを、長年スイレンの生産をしている「矢部園芸」の矢部耕一さんにご紹介いただきます。睡蓮鉢とセットでお届けしますので、すぐに可憐で涼しげな水鉢仕立てが楽しめます。

生みの親、育ての親に聞きました
名花の理由を知りたい！

小ぶりの水鉢仕立てなら
ベランダでもテラスでも
手軽に楽しめます！



※栽培イメージ

姫スイレンの苗と塩焼正方陶器睡蓮鉢のセットでお届けしますので、すぐに水鉢仕立てが楽しめます。塩焼というのは焼成の途中で塩を投入して焼く製法で、陶器はかたくしまり、表面に美しい光沢が出るのが特徴。シックな赤レンガ色を背景に姫スイレンの花色がよく映えます。

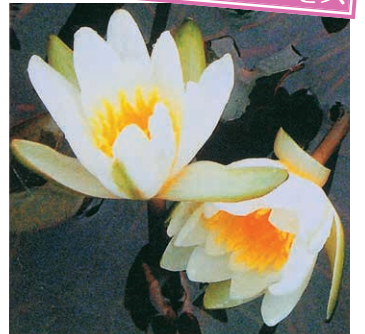
私が栽培しているのは耐寒性スイレンで、画家のモネがこよなく愛した花です。茎が高く立ち上がり、花も葉も水面に浮かぶ姿がとても優雅で、長年栽培していても見飽きることはありません。でも、苗の生産はなかなか大変。何しろスイレンの栽培は水仕事ですから、冬は手がしびれるほど冷たくなり、夏場は圃場の水が乾燥しやすく常に気にしなければなりません。スイレンは肥料をやり過ぎるとべと病にかかりやすいのですが、こだわって配合したオリジナルの肥料を使うことで、べと病を防いで花がよく咲く苗を作れるようになりました。

今回ご紹介するのは径3〜4cmの小さな花が愛らしい姫スイレンです。スノープリンセスは私が作出した品種で、姫スイレンの白花は世界でこの品種のみです。苗と睡蓮鉢のセットでお届けしますので、ベランダや玄関ポーチなどで手軽に栽培できます。上手に管理すると5〜10月の間に1株で30花くらいが次々に開花します。



30年ほど前に勤めていた製薬会社を辞め、植物の生産、販売を始めた矢部耕一さん。今では花木や樹木など多くの種類を生産しているが、最初に手掛けたのがスイレン。

スノープリンセス



姫スイレンでは世界に一つしかない白花品種。'ライラセア'から突然変異で生まれた白花を選別し、5年かけて固定。2002年に国際スイレン協会のコンテストで、小型スイレン部門1位を受賞。5月中旬から開花する。

ヘルボラ



透き通るような明るい黄色が美しい品種。5月中〜下旬に開花する。



ライラセア

濃ピンクが鮮やかで、とても華やかな印象の品種。スイレンは1本の茎に花が二つ咲く。今回紹介する3品種の中では一番早く5月上旬から開花する。



水を張ったままの冬の圃場の様子。

【管理のポイント】

- 睡蓮鉢は日当たりのよい場所に置くこと。
- 水を取り替える必要はなく、少なくなったら足していく。
- 葉にアブラムシがつきやすいので、見つけたらすぐに水で洗い流すようにする。
- 11月になって枯れてきてからも水を張ったままにしておくと、4月には芽が出てくる。



お届け内容

姫スイレン苗×1 (12cmポット苗)、塩焼正方陶器睡蓮鉢 (幅約25×奥行約25×高さ約15cm) ×1、お手入れのしおり付き

姫スイレン (スイレン科)

鉢 花期 5～10月 耐寒 強

ライラセア

電話 845-026-01 1セット 3,800円

スノープリンセス

電話 845-026-02 1セット 3,800円

ヘルボラ

電話 845-026-03 1セット 3,800円

ご注文締切 5/末 商品のお届け 6月上旬～下旬

※友の会会員割引はできません。※商品の性質上、北海道、沖縄県、離島へのお届けはできません。※ギフトラッピングはできません。※お届け日、時間の指定はできません。※写真はイメージです。鉢の色・デザイン、植物などは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

インターネットでもご注文いただけます。

https://shop.takii.co.jp